

『しごとと能力研究』編集方針

『しごとと能力研究』編集委員会

1. 目的

『しごとと能力研究』は、しごとと能力研究学会の機関誌として、しごと研究及びその関連分野における独創性のある理論的・実証的・実践的な研究を公表することを通じて、学術的知見の蓄積に貢献することを目的とする。

2. 投稿原稿

(1) 投稿原稿は、しごと又は関連する諸問題に関する学術研究等で、未発表かつ他の学術雑誌に投稿中でないものとする。

(2) 投稿原稿の区分およびその内容は以下の通りとする。

A. 研究論文

「しごと」または関連する諸問題に関する研究の成果で、独創性があり新たな学術的知見を有するもの

B. 招待論文

編集委員会から執筆を依頼するもの

C. 報告

- a. 研究論文としての要件は満たさないが、速報性があり公表の価値があるもの
- b. 既に発表された研究論文・報告に対する補足、修正、質問、意見等
- c. 海外における研究動向等

D. その他

その他、編集方針に照らして編集委員会が適当と認めたもの

3. 掲載の採否

(1) 「研究論文」は、別に定める『しごとと能力研究』査読規程に基づく査読審査を受ける。

編集委員会は研究論文1本に対し2名以上の査読者を選任して査読を依頼する。査読者は学会会員資格の有無を問わず、当該分野における専門家から選ばれ、投稿者には査読者名を伏せる。複数の査読者による査読結果レポートに基づき、編集委員会が掲載の採否を決定する。

(2) 「招待論文」「報告」「その他」は、編集委員会が掲載の採否を決定する。また、決定に際し、編集委員会は必要に応じて専門分野の研究者による助言を求めることができる。

(3) 掲載が決定した投稿原稿は、編集委員会は事務局と連携して速やかに印刷の手配を行い、機関誌を作成する。原則として、次号の発行2ヶ月前までに掲載が決定した投稿論文については、次号の機関誌に掲載されるものとする。

(以上)